

# 令和4年度 和光市立白子小学校 第1回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和4年4月28日(木) 10時30分～12時15分

2 場所 白子小学校 会議室

3 出席者 11名

## <学校運営協議会委員>

富澤 隆司 委員	富澤 昭憲 委員	須貝 郁子 委員	飯田 孝之 委員
牧 委員	鳥飼 昭男 委員	中村 哲 委員	小野寺 委員
宮澤 雅行 委員	佐野 一機 (校長)	古澤 由美 (主幹教諭)	(11名)

4 学校長あいさつ

5 協議

(1) 学校経営計画 (『令和4年度 和光市立白子小学校 学校経営計画』参照)

→ 質問なし

(2) 令和4年度年間行事計画 (『令和4年度 第1回 学校運営協議会』参照)

→ 質問なし

(3) 1学期の主な教育活動について

・運動会は延期になりそうですか？

→コロナの状況によります。

・時期を秋に戻した方が良いのでは？

→それも考えています。運動会を春にしたいきさは、校舎の建て替えがあったり、長雨のためだったりしたからです。

さらに秋は残暑が厳しいからです。

→秋の運動会はクラスの団結力が強まっていて、面白い。

・「アウトリーチ 音楽のたね」とは、何ですか。

→音楽の専門家が、子どもの前で演奏してくれるものです。

(4) 学校運営協議会運営計画 (『令和4年度 第1回 学校運営協議会』参照)

①南門の使用禁止について

石垣で遊んでいた児童が、以前後遺症が残る大ケガをしたことや、石垣の耐震が基準を満たしていないことにより、南門の使用を禁止しようと考えている。ちなみに現在、百段階段を使用しているのは、学童の利用児童と通学路で通っている数名の児童だけです。

→門柱も危険なので、昔、移設したこともある。階段のところの道路は大変危険な箇所もあるので、長期的な施設の改修計画も必要だと思います。

②教職員マニュアルの作成について

いざという時にそのマニュアルを見れば、誰でも対応できるようにしました。

③運営協議会規定について

運営協議会の規則があったはずですが、今でもありますか？

→あります。

④地域連携について

→教員の異動が早すぎるのではないか。最低でも3年間はいてもらいたい。

- 特に地域との連携では、少なくとも3年間は必要だと思います。
- コミュニティスクールと地域連携で、学校の負担が増えてはいけないと思います。
  - 学校点検で簡単な修理は地域でできるのではないのでしょうか。
  - リストアップしてほしいです。
  - 地域で運動会やお祭りがありますが、先生方にも来てほしい。
  - 先生方に声をかけてみます。また管理職一人は行くようにします。

## 6 閉会



# 令和4年度 第一回 学校運営協議会



一年生学校探検



始業式



一年生段階給食



入学式



離任式



一斉下校



一年生を迎える会

和光市立白子小学校

# 令和4年度 和光市立白子小学校 第1回 学校運営協議会 次第

令和3年4月28日  
和光市立白子小学校 会議室  
10時30分～

司会：富澤 昭憲 様

## 1 開会

## 2 学校長あいさつ

## 3 協議会委員自己紹介

## 4 協議

### (1) 令和4年度学校経営計画について

### (2) 令和4年度年間行事計画について

### (3) 一学期の主な教育活動について

5月 2日	月曜	1年生	交通安全教室
5月 11日	水曜	5年生	埼玉県学力学習状況調査
5月 21日	土曜		運動会
6月 1日～			個人面談
6月 2日	木曜	4年生	浄水場見学
6月 7日	火曜	3・4年生	アウトリーチ音楽のたね
6月 9日～			スポーツテスト
6月 15日	水曜	2年生	こども防犯教室
6月 18日	土曜		学校公開
6月 23日	木曜	4年生	自転車教室
7月 1日	金曜	4・5・6年生	懇談会
7月 5日	火曜	1・2・3年生	ひまわり学級懇談会
7月 8日	金曜		第二回学校運営協議会
7月 11日	月曜～12日	火曜	5年生 林間学校
7月 20日	水曜		一学期終業式

## 5 今後の予定

- 7月 8日 (金) 第2回学校運営委員会  
テーマ：「安心・安全」
  - ✓ 保護者・学校関係者による施設点検
  - ✓ 交通安全・防犯・防災体制
  - ✓ いじめ対応・不登校対応
- 10月29日 (土) 第3回学校運営委員会  
テーマ：「つながって育む」
  - ✓ 拡大学校運営委員会（学校公開の午後に実施）
  - ✓ 白子小学校の課題とその解決方法についての協議
- 12月22日 (木) 第4回学校運営委員会  
テーマ：「変わる」

- 3月17日（金）
  - ✓ ICT活用推進と新しい学び
  - ✓ 新しい学びのための地域・学校連携について
- 第5回学校運営委員会
- テーマ：「フィードバック」
- ✓ 学校関係者評価
- ✓ 本年度の学校経営の振り返り
- ✓ 次年度の学校経営方針について

## 6 閉会



令和4年度

和光市立白子小学校

# 学校経営計画



白子小マスコットキャラクター「しらりん」

# 令和4年度 和光市立広白子小学校 学校経営計画

## 「つながって育む」そして「変わる」

令和3年度は「新型コロナ対応」と「ギガスクール構想対応」の年度でした。新型コロナ対応では、感染対策のための「新しい生活様式の徹底」「様々な学校行事の自粛」等を行ってきました。一方で、アフターコロナ下での地域連携の再開・コロナ下で促進された働き方改革の継続等が課題として残っています。「ギガスクール構想対応」では、一人一台タブレットが導入され、一気にICT整備が進みました。一方でICTの運用・活用についての情報不足・研修不足等、新たな課題も見えています。

こうした点を踏まえ、令和4年度の白子小学校の進むべき方向として「**つながって育む**」そして「**変わる**」をテーマとして掲げたいと思います。

まず「つながって育む」についてです。コロナ禍でストップしていた学校・地域連携の再開・学校運営協議会の在り方の検討等も含め、こんな時代だからこそ、学校・家庭・地域が「つながる」重要性を再認識し、白子小学校の教育を推進していきたい。そんな概念を「つながって育む」で表しました。

「変わる」については、子ども達の学びが「変わる」、教職員・保護者・地域の皆様の学校教育に対する意識が「変わる」。そんな概念を表しています。

「コロナ」「ギガ」を経て、学校が家庭・地域とつながり、変わっていく。そして21世紀型の新しい学びへ。そのような思いで本年度の学校経営を推進していきます。

### 1 学校教育目標

考える子 … **主体的に学び、考える子**

仲良くする子 … **対話的・協働的に学び、仲良くする子**

元気な子 … **心も体も健康で、生きる力にあふれる子**

昨年度、「主体的・対話的で深い学び」の推進を踏まえ、学校教育目標の三観点は保持したまま、副題を変更させていただきました。本年度も継続いたします。

#### 主体的に学び、考える子

「興味や関心を高める子」「見通しをもって学べる子」「生活や体験と結びつけて学べる子」「持続的に学び続ける子」「自分を振り返って学べる子」

#### 対話的・協働的に学び、仲良くする子

「友達の考えを理解しようとする子」「自分の考えを表現できる子」「色々な情報を集め、取捨選択できる子」「協働して課題を解決しようとする子」「みんなで新しいものを創造しようとする子」「自制心のある子」「共感できる気持ちのある子」

#### 心も体も健康で、生きる力にあふれる子

「協調性のある子」「規律ある生活ができる子」「活動的で積極的な子」「好奇心を持ち、問い続ける子」「柔軟に物事に対応できる子」「自己有用感があり自信をもてる子」

## 2 目指す学校像

目指す学校像は、「学校・地域・保護者連携」「教職員間連携」「児童への指導」の三つの観点から構築しています。

- (1) 学校・地域・保護者が子ども達のために「ほうれんそう」の精神で連携する学校
- (2) 教職員が「ほうれんそうのおひたし」の精神を持ち、連携して働く学校
- (3) 児童が「新しい学び」を体感できる学校

## 3 目指す児童像

目指す児童像は、学校教育目標の副題と同じです。

- (1) 主体的に学び、考える子
- (2) 対話的・協働的に学び、仲良くする子
- (3) 心も体も健康で、生きる力にあふれる子

## 4 本年度の重点目標

### (1) 「つながる」について

#### ① 地域・保護者と「つながる」

コロナ禍では白子小の特徴である「地域との連携」を縮小せざるを得ませんでした。本年度は、アフターコロナを見据えた地域連携のあり方について、関係機関と協議を進めたいと考えています。そして子供たちが楽しみにしている様々な行事をどのようにしたら再開できるか、協議を進めていきます。

#### ② コミュニティー・スクールで「つながる」

学校運営協議会（コミュニティー・スクール）が学校・家庭・地域連携推進の基盤となる組織となるよう改善を進めていきます。そして本年度より学校地域協働本部が中学校区単位で立ち上がります。こちらについての理解の促進、そして学校運營業議会との連携について模索していきます。

#### ③ 「ほうれんそうのおひたし」の意識の浸透

保護者・地域連携、教職員間の連携の基礎としての「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」の浸透、そして児童への指導・支援の在り方の基礎としての「おひたし（怒らない・否定しない・助ける・指示する）」の意識をより一層、浸透させていきます。

- ホウ「報告」  
教職員間・管理職への報告・保護者への報告。→must 事項。多くの事件事故が一人で処理することで発生する。保護者・地域の皆様も気になったことは是非、学校にご報告を。特に「いじめ対応」「生徒指導対応」は、些細なことでも「ほうれんそう」で。
- レン「連絡」  
教職員間の連絡事項の確実な周知徹底・保護者・児童への正確な連絡。→must 事項。学年間での共通認識を持つ。・・・だろう・・・に違いないは×。
- ソウ「相談」  
一人で抱え込まない。年齢差・経験差・役職の違いを気にしない。学校での児童の様子を保護者と共有し、共に育てる意識。→ 職場の雰囲気重要。風通しの良い・明るい職場。保護者目線に立ち、「共育」する意識。保護者・地域の皆様も、是非、学校を信頼いただき、何事もお相談ください。
- お「怒らない」  
アンガーマネジメント。「怒らない」≠「指導しない」。必要なことは確実に「指導」を。ただし、その指導の在り方において「感情的に怒る」ことはしない。「怒る」のなら、効果的な「演技」であるべき。実態に応じた多くの「指導の引き出し」を持つ。ご家庭においても、感情的ではない「諭し方」を。

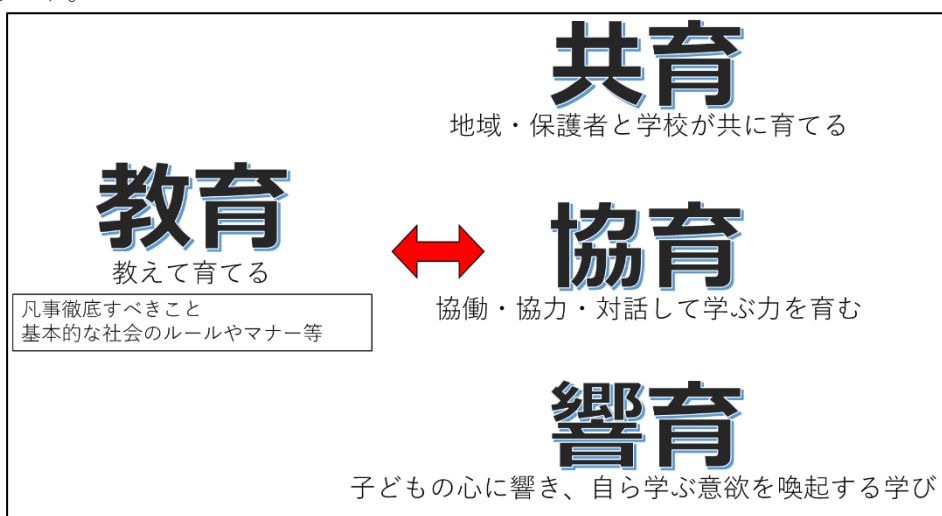


- ひ「否定しない」  
児童の持つ「良さ」に着目する。児童が自己肯定感を持つことが成長の鍵。自己否定をもたらす指導は、逆効果であることが多々ある。ありのままの児童を承認し帰属意識を持たせる。家庭においても、お子様の自己有用感を育てられる「褒め方」を。
- た「助ける」  
児童が何に困っているのか、どこに躓いているのかをよく観察し支援。支援のあり方については、ユニバーサルデザインの視点・個別支援・特別支援の考え方を取り入れる。ご家庭においては「無償の愛情」を。ただし「物」を与えることは愛情の代償にならないケースが多々あります。言葉と行動で愛情を示してあげてください。
- し「指示する」  
指示は「明確・簡潔」に。指導すべき事はしっかりと。特に児童の安全や生活規律に関することは、「凡事徹底」し、学校・家庭・地域で繰り返し、指導する必要があります。

## (2) 「変わる」について

### ① 「教える」から「学ぶ」に「変わる」

「知識を教える授業」から「学び方を学ぶ授業」が当たり前になるよう、普通の授業から変えていきます。



### ② 教職員の働き方が「変わる」

コロナ禍では、削減できる行事・出張等は可能な限り削減してきました。アフターコロナ下において、「必要性があり元に戻すもの」と「そのまま削減すべきもの」を明確にするとともに、ICTの業務活用をさらに推進していきます。その過程で「教育効果はあるが、そのために掛かる労力・費用を考えると削減したいもの」がでてきます。こうした点については、地域・保護者の皆様にも是非、ご理解をいただきたいと考えています。

### ③ ICTへの理解が「変わる」

ギガスクール構想が一気に推進されていく中でハード面は整いましたがソフト面が不十分です。つまりICTをどのように活用するか、どのように機材を運用していくか。ICTを活用することでいかに「主体的・対話的で深い学び」につなげるか。こうした研究を推進し、ICTを上手に活用した授業・業務を推進していきます。